



目次

- (1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ
 - 交通バリアフリー推進の集い冊子配布について
- (2) ネットワーク参加団体からのお知らせ
 - 第23回日本福祉のまちづくり関西セミナー
 - 首都大学東京 第2回都市研究会 情報のユニバーサルデザイン勉強会
 - コミュニケーション支援用絵記号デザインがJIS化
 - 点字テプラが販売されました
 - 合宿型移送サービス講習会
 - 第6回移送サービス運転協力者研修会開催の予告
 - 第三回 誰でも楽しもう霞ヶ浦 海の日大会
- (3) エコモからのお知らせ
 - 手話サロンの開設
 - トランセッド2007開催のご案内(第一弾) First Announcement of TRANSED 2007
 - 旅客船ハンドブック「旅客船バリアフリー基準の解説」を発行しました
 - 参加型・福祉の交通まちづくり～交通バリアフリー法を中心にプロセスを学ぶ～発刊しました
 - バリアフリー学習図鑑(CD-ROM)の公開
 - らくらくおでかけネット
 - 公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について
- (4) 行政からのお知らせ
 - 「公共サービス窓口配慮マニュアル」の発行について(内閣府)
 - ～すべての人々が安心して生活できるバリアフリー環境を目指して～(国土交通省)
 - 都道府県別バリアフリー指標の公表
 - 交通バリアフリー法移動円滑化基本構想策定状況(国土交通省)
- (5) 各種催し物のお知らせ
 - 第4回高知福祉機器展～バリアフリー・フェスティバル～
 - 日本福祉のまちづくり学会第8回全国大会
 - 日本建築学会大会(近畿)
 - 日経住まいのリフォーム博2005
 - 第32回国際福祉機器展 H.C.R2005
 - 福祉用具展 in 杜の都2005
 - REHA CARE(リハケア)国際リハビリテーション展(ドイツ)
 - Mediphar Taipei 2005(台湾)
 - 第18回全国健康福祉祭ふくおか大会 ねんりんピックふくおか2005
 - P.P.C. 2005 第7回西日本国際福祉機器展
 - 高齢、障害と自立に関する国際会議(アメリカ)
 - バリアフリー2006
- (6) その他
 - 書籍に関して
 - 記事募集中
 - お願い(必ずお読みください。)
 - ・転送先について
 - ・送付先について

コラム

(1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

交通バリアフリー推進の集い、交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について

交通バリアフリー推進の集いの当日配付資料(平成15年度、平成16年度)をご希望の方は、ご連絡ください。 FAX:03-3221-6674 E-mail:ecomomail@ecomomail.jp

(2) ネットワーク参加団体からのお知らせ

第23回日本福祉のまちづくり関西セミナー

日時:6月20日(月)18:30~20:00

場所:大阪桐杏学園 第6会議室(大阪駅前第3ビル17階)

テーマ:『『福祉のまちづくり条例』と関わって』

講師:多淵敏樹氏(兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所長)

申し込み・問い合わせ先:

日本福祉のまちづくり学会関西支部事務局 担当・室崎

〒651-2181 神戸市西区曙町1070 兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所内

TEL078-925-9283/FAX078-925-9284 E-mail:gakkai-west@assistech.hwc.or.jp

首都大学東京 第2回都市研究会 情報のユニバーサルデザイン勉強会

日時:6月15日(水)15:00~18:00

場所:財団法人国土技術研究センター 7階 第2・3会議室

住所:〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目12番1号(ニッセイ虎ノ門ビル)

交通:日比谷線神谷町駅 3番出口より徒歩2分

地図:<http://www.jice.or.jp/contact/index.html>

内容 司会 首都大学東京 秋山哲男

話題提供:15:00~17:00(各40分)

1. ユビキタスによる誘導の現状と課題 藤本 繁雄((財)国土技術研究センター)

2. 光のユニバーサルデザイン 最所 祐二(松下電工株式会社)

池田 典弘(株キクテック)

3. 音のユニバーサルデザイン

交渉中

討論:17:00~18:00(60分)

お申し込み先(30人先着順です)

連絡先:秋山哲男(首都大学東京 教授)

aki@k08.itscom.net / aki-tetsuo@c.metro-u.ac.jp 0426-77-2360

コミュニケーション支援用絵記号デザインがJIS化

経済産業省は、4月20日に、「コミュニケーション支援用絵記号デザイン原則(JIS T0103)」の規格を制定しました。

この規格は、文字や話し言葉によるコミュニケーションの困難な人が、自分の意思や要求を相手に的確に伝え、正しく理解してもらうことを支援するための絵記号に関する日本工業規格(JIS)です。なお、この絵記号は共用品推進機構のホームページでダウンロードできます。

<http://www.kyoyohin.org/>

点字テプラが販売されました

株式会社キングジムから、点字も印字できるテプラが発売になりました。墨字との併記や点字のみの印字も可能。一般のテプラとしても使用することもできます。

詳細はこちらまで <http://www.kingjim.co.jp/products/electronic/tepra/sr6700d.html>

合宿型移送サービス講習会

開催日 6月18日(土)~19日(日)

同時開催ですが、双方の講習会を同時には受講できません。

会場 津田山オートスクエア セミナーハウス 神奈川県川崎市高津区下作延 1823

定員 40名(各講習会共)

ボランティア団体やNPO法人等、市民活動による移送サービス実施団体で、運転協力者またはコーディネーターとして活動しているか、活動を始めようとしている方。

運転協力者講習会は普通自動車免許を有している方。

運転協力者講習会のみ定員に余裕がある場合は、営利法人の方も参加できます。

参加費 17,000円(各講習会共)

受講料、テキスト代、土曜の夕食、日曜の朝食、昼食、宿泊費、保険料を含む。

問合せ先 移送・移動サービス地域ネットワーク団体連合会

〒162-0828 東京都新宿区袋町 24 岡田ビル 2F

TEL&FAX03-5261-9009 E-mail accessible-tic@pop16.odn.ne.jp

講座ホームページ <http://www.jin-navi.jp/>

第6回移送サービス運転協力者研修会開催の予告

日時 7月30日(土)・31日(日) 両日共 10:00~17:00

会場 日野市内

定員 30名 連絡会会員を優先します。

対象 移送サービス実施団体で、現に運転協力者として活動している方で、活動年数が概ね2年未満の方。

両日とも出席できること。お申込みは所属団体を通してお願いします。

参加費 10,000円(東京ハンディキャブ連絡会団体会員は5,000円)

その他 実技での車両の持込み受講はできません。

正式なご案内は6月中旬に発送を予定しています。

申込み・問合せ先 東京ハンディキャブ連絡会

第三回 誰でも楽しもう霞ヶ浦 海の日大会

この企画では、アクセスディンギーを通しボランティアの大切さ、年代や障害という垣根を越えたふれあいと霞ヶ浦を知り楽しみます。

開催日 7月16日(土)

時刻 受付開始 9:00 体験会 10:00~15:00

参加費用 保険代他 500円の個人負担をお願いいたします。

募集人数 50名

募集締切り日 7月15日

会場 京成マリーナ JR土浦駅東口徒歩10分

申し込み先 FAX又はメールでお申し込み下さい。

京成マリーナ 担当:営業部 加固久雄 〒300-0033 土浦市川口2-13-6

tel: 029-822-2437 fax: 029-826-2839 E-mail: keiseimarina@minos.ocn.ne.jp

主催 セイラビリティージャパン・土浦支部

協力 土浦一高ヨット部OB会、マリーナビーチ協会、障害者カヌー協会、筑波技短手話クラブ、霞ヶ浦市民協会、ヤマハ発動機(株)、京成ホテル(株)、(株)京成マリーナ

優待乗船 遊覧船ホワイトアイリス号は高齢者(65歳以上)、子供(小学生まで)

当日無料

その他 小型の馬ポニーに500円で乗れます。(小学生まで)

参加者は下記の体験イベントをすべて楽しめます

1. 車いすトライアル体験 設定されたコースを走り、取り扱いや介助の仕方を学ぼう。
2. 誰でもヨット操縦体験 絶対に沈まない「アクセクディンギー」簡単10分で乗れる。
3. 大型モーターボートで霞ヶ浦の水質勉強会クルーズ プラントンが見られる。
4. ボート免許はどうしたら取れるの体験クルーズ ボート免許に興味のある方、車いす利

用者や聴覚障害をお持ちの方、ぜひ参加下さい。試験教官が質問にお答えしながら実際のコースを試験艇で走ります。法改正により障害者のボート免許取得が簡単になりました。

5. 霞ヶ浦の広さを大型ヨットで体験しようクルーズ 大型クルージングヨットにて優雅にそしてダイナミックに霞ヶ浦を体感してください。リッチな気分になります。

6. カヌー、カヤック体験 水と一体になろう。水面から出る「元気イオン効果」で日々のストレスを発散してください。

7. 筑波技術短大のサウンドグループ“ザ・ラザラ”による生演奏が楽しめます。

当ハーバーには車いすトイレ2ヶ所、車いす駐車場、レストランあります。

(3) エコモからのお知らせ

手話サロンの開設

当財団で、手話教室を勉強された方などが集まり、手話サロンを開設しました。交通エコモ財団では手話教室として、手話の基本(現在:初級程度7ヶ月25回)程度を広く交通事業者の従事員に対し、講習していますが、それを修了した受講生から、もっと勉強したいとの要望もあり、受講生の発案のもと手話サロンを開設しました。

トランセッド 2007 開催のご案内(第一弾) First Announcement of TRANSED 2007

第 11 回高齢者・障害者のモビリティと交通に関する国際会議(TRANSED2007)

この会議は3年に一度開催される当該分野では唯一の国際会議です。昨年は静岡県浜松市で開催され国内外から400名近い方が参加されました。次回は2007年にカナダのモントリオールで開催されます。会議の概要が発表されましたのでお知らせ致します。

現在、参加意志のある方の事前登録を行っております。最新の会議情報をお知らせするためにご登録を頂くもので、会議の参加を約束するものではありません。会議の円滑な準備のためにもぜひ事前登録にご協力下さい。(次のURLで会議のホームページにリンクします
<http://www.tc.gc.ca/transed2007>: 英語、仏語のみ)

会期 2007年6月18日~21日

場所 モントリオール

テーマ 「ベンチマークの設定、その評価と将来への展望」

参加対象 交通、移動のアクセシビリティに関する研究者、行政関係者、交通事業者、利用者及び関心のある人

主催 Transport Canada(カナダ運輸省)/後援 Transportation Research Board(米国)

主要日程

論文及びポスターのアブストラクト募集開始 2005年6月

アブストラクトの提出締め切り 2005年10月

採否通知 2006年2月

会議登録開始 2006年9月

論文及びポスターの提出締め切り(採択された方のみ) 2006年12月

早期登録割引適用期限 2007年4月(以後は登録費の早期割引は受けられません)

論文及びポスターを発表しない方でも会議に参加することができます(登録費は必要です)

上記日程は予定も含まれており変更されることもあります。

会議に関するお問い合わせは下記にお願い致します。

*Mailing Address: Transport Canada Intergovernmental Affairs and Accessibility, TRANSED

Place de Ville, Tower C

330 Sparks Street

Ottawa, Ontario

Canada K1A 0N5

*Email: transed@tc.gc.ca / *Telephone: 1-800-665-6478 (Canada only) or (613) 941-0980

*TTY: 1-800-823-3823 (Canada only) or (613) 998-5368 / *Fax: (613) 991-6422

2004年に浜松で開催された会議については当財団沢田までお問い合わせ下さい。

旅客船ハンドブック「旅客船バリアフリー基準の解説」を発行しました

国土交通省は、国内旅客船のバリアフリー化の指針として、「旅客船バリアフリー設計マニュアル」を策定しているが、旅客船事業者及び造船事業者はこれまで旅客船のバリアフリー化に対する整備の経験も浅く、高齢者や障害者の移動をどのように理解し、整備するのが望ましいのか、その判断に苦慮している意見も多く寄せられていたことから、関係者にヒヤリング等を行い、具体的に分かりやすく説明したハンドブックを作成しました。(1,500円 A4 115頁)

参加型・福祉の交通まちづくり～交通バリアフリー法を中心にプロセスを学ぶ～発刊しました

市民参加をどの様にすすめればよいのかを多様な事例をもとに解説し、今後解決すべき課題を示しています。行政、交通事業者、まちづくり・障がい者団体等への基本テキストとして作成しました。2005年2月25日学芸出版社より発行(本体価格2,900円 A5 272頁)しました。概要は、下記ホームページをご覧ください。お買い求めについては、一般書店で取り扱っております。
<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/gakugei/mokuroku/syohyo/index.htm>

バリアフリー学習図鑑(CD-ROM)の公開

子供達がバリアフリーや福祉に関する学習を進める上で、障害のある人達の日常の不便さ等を知り、ハード面のバリアフリー、ソフト面での(心の)バリアフリーを理解し、バリアフリー社会の実現を自分のこととして捉えるため親しみやすいCD-ROMを作成しました。現在、交通エコモ財団のホームページにて公開しています。是非ご利用ください。

http://www.ecomo.or.jp/index_img/kaisetsu.htm

らくらくおでかけネット

現在は、鉄道駅3,944駅、空港83、バス180、旅客船456ターミナルの情報を提供しています。最近の1日のアクセス件数は、約4,000件となりました。特に、携帯端末によるアクセスが増えています。また、ハンドル式電動車いすの鉄道利用が可能な駅が公表されています。なお、アドレスは下記の通りです。

アドレス:(パソコン版) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/index/>

(携帯版=i-mode,vodafone) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile/>

(携帯版=EZ-web) http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile_ez/

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価に関する簡易評価マニュアルを公開していますが、こちらは、あくまでも地域の市民や学生の皆様などが自主的に評価に取り組みされる時のために提供していますので、ご自由にお使いください。なお、実際に駅を評価される場合は、皆様の自主的な活動として、鉄道事業者の方にご連絡してください。

(4) 行政からのお知らせ

「公共サービス窓口配慮マニュアル」の発行について(内閣府)

内閣府は、障害者基本計画(平成14年12月24日閣議決定)に掲げられた「公共サービス従事者に対する障害者理解の促進」を具体化するため、障害のある方が窓口を利用される際に配慮すべき事項を具体的に示した「公共サービス窓口における配慮マニュアル」を作成しました。

マニュアルの作成にあたっては、障害者施策推進本部の下に、全府省庁及び人事院で構成される「公共サービス適切対応推進チーム」を設置し、障害種別の各障害者団体から要望を聴取するとともに、国の公共サービス窓口現場の状況や課題を調査し、これらを踏まえてマニュアルが作成されました。

マニュアルは、国の公共サービス窓口機関で活用するほか、都道府県及びサービス窓口を有する関係団体等にも配布されました。

内容については内閣府ホームページからダウンロードできます。

<http://www8.cao.go.jp/shougai/index.html>

～すべての人々が安心して生活できるバリアフリー環境を目指して～
都道府県別バリアフリー指標の公表

国土交通省では、バリアフリー施設整備の進捗に、地方公共団体の取り組みに差が見られることから、旅客施設、道路、都道府県庁・市町村役場等の公共建築物、バス車両等のバリアフリー化の状況、交通バリアフリー法に基づく基本構想の策定状況等の個別指標について情報収集を行い、地方公共団体毎にとりまとめて公表することとしました。

これにより、地方公共団体の意識の向上、基本構想作成促進を図り、面的なバリアフリー環境の整備に資することを目的としています。

http://www.mlit.go.jp/barrierfree/barrierfree_.html

交通バリアフリー法移動円滑化基本構想策定状況（平成17年3月1日まで）

基本構想を作成済みの市区町村 173市町村(184基本構想)

詳細はこちらまで http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrier/jyurijyoukyou_.html

(5) 各種催し物のお知らせ

第4回高知福祉機器展～バリアフリー・フェスティバル～

<http://www2.inforyoma.or.jp/~uhouho/fjn-k-uerupa5.htm>

日時：6月17日（金）～19日（日）

場所：高知市文化プラザ かるぼーと 7階展示室（高知市九反田2番1号）

日本福祉のまちづくり学会第8回全国大会 <http://www.jice.or.jp/fukushi/>

日時：8月25日～26日

場所：千葉県教育会館

日本建築学会大会（近畿） <http://news-sv.aij.or.jp/taikai/s1/>

日時：9月1日～3日

場所：近畿大学

日経住まいのリフォーム博2005 <http://www.nikkei.co.jp/events/reformhaku/>

日時：9月15日～18日

場所：東京ビックサイト

第32回国際福祉機器展 H.C.R2005 http://www.hcr.or.jp/2005kaisaiyoukou_j.html

日時：9月27日（火）～29日（木）

場所：東京ビックサイト

福祉用具展 in 杜の都2005 <http://tfusvsun.tfu.ac.jp/js/g/tenji/>

日時：10月8日（土）～9日（日）

場所：東北福祉大学

REHA CARE（リハケア）国際リハビリテーション展 <http://www.messe-duesseldorf.de>

日時：10月12日（水）～15日（土）

場所：ドイツ デュッセルドルフ

Mediphar Taipei 2005 <http://www.taipeitradeshows.com.tw/mediphar/>

日時：11月10日（木）～13日（土）

場所：台北（TWTC Exhibition Hall）

第18回全国健康福祉祭ふくおか大会 ねんりんピックふくおか2005

<http://www.city.kitakyushu.jp/~nenrinpic/Pages/hw.html>

日時：11月12日（土）～15日（火）

場所：西日本総合展示場（北九州市小倉北区浅野三丁目）

P.P.C. 2005 第7回西日本国際福祉機器展 <http://www.nishiten.or.jp/fukushi/>

日時：11月13日～15日
場所：西日本総合展示場・本館
高齡、障害と自立に関する国際会議 <http://www.icadi.phhp.ufl.edu/>
日時：2006年2月1日～4日
場所：フロリダ大学
バリアフリー2006 <http://www.itp.gr.jp/bf/>
日時：2006年4月20日～22日
場所：インテックス大阪

(6) その他

書籍に関して

現在バリアフリー関係の書籍、パンフレットを発行しております。ご興味のある方は、当財団のホームページへ。 http://www.ecomo.or.jp/barrier_free/bari_f_index.html

記事募集中!

現在、次号メールマガジンに掲載させて頂ける記事を募集中です。セミナーのお知らせや、活動報告、コラム等々何でも結構です。どしどしお寄せください。掲載をご希望の方は、メールかFAXでお送りください。

E-mail: ecomomail@ecomomail.jp FAX: 03-3221-6674

お願い(必ずお読みください。)

・転送先について

このメールマガジンをご転送頂く際は、そのネットワーク、もしくは団体のお名前と人数をお教え頂ければと思います。 E-mail: ecomomail@ecomomail.jp FAX: 03-3221-6674

・送付先について

このメールマガジンをなるべくE-mailで送付させて頂きたいと思っております。アドレスをお持ちの方はご連絡ください。 E-mail: ecomomail@ecomomail.jp FAX: 03-3221-6674

コ ラ ム

先日、DPIの三沢局長同行の下、韓国の障害者団体と交通研究機関の方が来訪され、わが国の交通バリアフリーの仕組みについて、説明する機会を得、また意見交換を行った。

韓国もわが国の交通バリアフリー法と同じような法律「交通弱者の移動便宜増進法」が今年の1月に出来て、来年の1月から施行されるとのことである。

内容はわが国の交通バリアフリー法とさほど変わらないが、ただ大きな相違点があるそれは「障害者等の交通弱者は、人間としての尊厳と価値及び幸福を追求する権利を保障するために、障害者等の交通弱者でない人々が利用するすべての交通手段、旅客施設及び道路を差別なく安全で便利に利用できる権利を持つ。」と移動権が明記されている。

今年は、わが国は交通バリアフリー法の5年後の見直しのときである。歴史的、風土的な問題もあり、いろいろと大変な問題も沢山あると思うが、バリアフリーは着実に進歩していることは目に見えて分かる。このときこそ我々も大きなチャンスであり、励みでもある。関係者と共に、さらに安全で、快適で、移動しやすい環境整備に手伝えることができれば担当者として大きな喜びとなろう。

また、6月12日DPIの全国集会(福岡)に参加した。そこでは韓国、中国、モンゴルの代表者があつまり、小アジア地区の障害者が自立・人権・移動について意見交換、民間交流が行われていた。最近、政治的にも隣国とうまく関係が保たれてないときに、垣根を越えたこのような活動は、まさに素晴らしいことである。